



桃五だより



No.628

(10月号)

2023.9.29

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

桃五小の歴史 そして「やればできる」 校長 佐野 篤

桃五小は10月12日に89回目の創立記念日を迎えます。本校は、1934年(昭和9年)に9月1日に、東京市桃井第五尋常小学校として現在の場所に開校しました。男子147名、女子161名 合計308名の7学級でのスタートでした。さらに昔をたどると、1903年(明治36年)4月16日 桃井第一尋常小学校の分教場として、現在の下井草駅の南側に創設され、男子15名、女子13名、合計28名でスタートしたと記録に残っています。

そして、10月12日に開校祝賀式を挙行し、開校記念日としました。また、校章を決めました。校章の由来は、当時の下井草の自然の中の爛漫と咲き誇る桃の花と、湧き出る清水を表す「井」の文字を図案化したものです。

校歌は、1950年(昭和25年)5月22日に制定しました。作詞は長橋輝英さん。PTAの「校歌公募」に応募し、当選。当時のPTAの「おかあさん」との記録があります。作曲は伊藤義雄さん。PTAの「おとうさん」で、当時は武蔵野音楽大学教授だったそうです。

校章にデザインされ、校歌の歌詞となった「桃」の木は、校庭の西側、教材園のフェンス際に3本ありました。春には、桜とまた違ったピンク色の花が咲き、夏には、ひっそりと実がなっていたそうです。(70周年の記念誌より)残念ながら、現在はありません。

その当時は、四宮小(昭和26年開校)、杳掛小(昭和28年開校)、八成小(昭和30年開校)のところまで学区でした。児童数増加によって、各校の開校後に学区が分かれました。児童数の最大は、昭和29年の1270名です。1995年(平成7年)1月から完成した新校舎(現在の校舎)での授業が始まりました。また、2005年(平成17年)2月に校庭が全面芝生化されました。

さて、校長室には、本校名誉校長 故 小柴昌俊(こしば まさとし)先生の直筆の色紙が掲げられています。小児マヒ、成績ビリ、予算なし……。逆境に次ぐ逆境を、卓越した想像力と行動力、そしてユーモアで乗り越え、ノーベル物理学賞を受賞した小柴先生。その小柴先生が、2009年(平成21年)10月に、創立75周年記念ロング集会で、「これからの世の中を生きていく 桃五の子」をテーマに、子供たちに記念講演をしていたとの記録があります。『自分の「卵」を大事にすると同時に、多くの人との触れ合いを大切にしてください』とのメッセージをいただきました。小柴先生が大切にされた言葉は、「やればできる」です。「やればできる」と思うことが大切であり、一人でも多くの人に「やればできる」と思ってほしいとのことです。この言葉を胸に、私も「やさしさ」と「しあわせ」があふれる学校経営に邁進したいと思います。

学校はみんなで創るものです。保護者の皆様や地域の皆様には、さらに強靱なサポーターになっていただき、桃五小を全ての子供に居場所があり、学びがあり、しあわせがある学校にしていきたいと思っております。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

10月の生活指導目標 「安全に生活をしよう」

2学期が始まり約一か月がたち、疲れが出てくる時期です。このような時には思わぬ事故や怪我が起こりがちになります。オープンスペースや階段、教室での過ごし方、登下校中のルールなどをもう一度確認し、大きな怪我や事故などの無いようにしましょう。